

会 議 記 録				
会議の名称	議 会 運 営 委 員 会			会議場所 全員協議会室
				担当職員 加藤 太郎
日 時	令和3年12月7日(火曜日)			開 議 午後 3時 44分
				閉 議 午後 4時 7分
出席委員	◎木曾 ○西口 大塚 三上 山本 松山 菱田 ＜福井議長、小川副議長＞			
執行機関 出席者	桂川市長、浦政策企画部長、石田総務部長			
事務局 出席者	山内事務局長、井上次長、加藤副課長、熊谷総務係長			
傍 聴	可	市民0名	報道関係者1名	議員4名(富谷、浅田、赤坂、藤本)

会 議 の 概 要

1 5 : 4 4

[木曾委員長 開議]

1 追加議案について

[市長等 入室]

[市長 あいさつ]

[総務部長 説明]

＜木曾委員長＞

本日は聞きおく程度とする。この内容は総務文教常任委員会で審査される予定である。

[市長等 退室]

1 5 : 4 7

2 12月10日の日程について

[事務局長 説明]

＜木曾委員長＞

質疑の通告はなかった。この日程で確認いただきたいがよいか。

—全員了—

＜木曾委員長＞

付託表（その1）と（その2）を議場に持参願う。

＜三上議員＞

追加議案である第20号議案の質疑の通告期限はどうか。

＜事務局長＞

第20号議案については、12月10日の本会議で追加提案された際に、事前通告なく質疑していただける。

3 請願について

<事務局長>

今議会には請願の提出はなかった。

4 陳情・要望について

(1) ウイグル等の人権問題に対し国に調査を求める意見書採択のお願い

(2) ウイグルの人権問題に対し国に調査を求める意見書採択のお願い

[事務局長 説明]

<木曾委員長>

陳情・要望を2件受理している。(1)(2)ともに、総務文教常任委員会に送付することによいか。

—全員了—

<木曾委員長>

この内容については、意見書の採択も兼ねているので、審査の際にはそのことを十分留意いただき、全会一致であれば総務文教常任委員長の発議となるが、全会一致でなければ別途取扱いを協議することになるので、承知いただきたい。

5 その他

(1) 常任委員会の日程

(2) 意見書提出期限

(3) 討論通告期限

(4) 次回の議会運営委員会

(5) 政策提言について(政策研究会)

[事務局長 説明]

<木曾委員長>

意見書については、各会派でも調整いただきたい。それぞれの日程については説明のとおりであるので、確認願う。最後に政策研究会からの政策提言について、浅田会長から報告いただくので、よろしくお願いします。

<浅田政策研究会会長>

亀岡市議会LGBTQ+政策研究会への御理解と御協力に対して、お礼申し上げる。先ほど説明があったとおり、私ども政策研究会では、LGBTQ+に関する調査研究を進めてきたところであり、昨日、議長にその活動経過と政策提言案を報告させていただいた。本日は、それらの内容について議会運営委員会に報告させていただきたいと思う。本年4月22日に議会運営委員会で承認いただいたLGBTQ+に関する政策研究会は、これまでに計8回の会議を開催し、当事者との意見交換、本市所管部との意見交換、明石市への行政視察等を行ってきた。これらの調査研究の中で、LGBTQ+に関する認識を深め、本市の重要施策の一つとして位置づけるべきものという共通理解のもと、本市が主体的に行うべき内容に絞って政策提言書(一次提言)及びシンボルマークをまとめた。なお、議会運営委員会で承認いただければ、早速に市長に対して提出する予定としている。本日は三上副会長と赤坂副会長も同席しており、初めに三上副会長から政策提言書案について説明させていただく。

<三上政策研究会副会長>

LGBTQ+に関する政策提言について、本日、議長から議会運営委員長へ報告されたものであるが、昨日には73ページに及ぶ会議録を含めて、政策研究会から議

長へ報告書を提出したところである。これからますます多様性へのニーズが大きくなっていく中での第一次の政策提言書としてまとめている。

～L G B T Q＋に関する政策提言書案の読み上げ～

<三上政策研究会副会長>

政策研究会一同の総意として、以上の内容の政策提言を申し上げることになるので、御審議をよろしくお願いしたい。

<浅田政策研究会会長>

続いて、赤坂副会長からL G B T Q＋への理解を表現するシンボルマークについて説明させていただく。

<赤坂政策研究会副会長>

このシンボルマークについては、約3種類あったデザインの中から、人権啓発課と協議して、人権啓発課がこれでいきたいとのことであった。そのデザインを少し修正し、テーマを「世界の人がつながる L G B T Q＋の多様なハートを受け止めよう！」としている。5色のマルのところはL G B T Qを表現しており、手のひらでハートを包み込んでいる。そして、「白」でもなく「黒」でもなく、「自由でいいんだ」という「グレー」でそのまわりを縁どり、そこには温かい血が通っているデザインである。赤の点線は血をイメージしている。このシンボルマークを活用されるよう提案する予定である。

<浅田政策研究会会長>

今後、あらゆる角度や視点から調査研究活動을續けて、まとめの報告書及び政策提言書を作成し提出する予定であるので、今後とも御理解と御協力をお願いしたい。

<福井議長>

政策研究会正副会長からは、今回のシンボルマークを含めた政策提言について、本日の議会運営委員会で報告後、議会運営委員会の皆さんに一度会派に持ち帰って各会派で説明いただいた上で、次回12月17日の議会運営委員会です承いただき、市長へ提出するといった流れになると聞いている。

<木曾委員長>

今後のスケジュールについて説明願う。

<浅田政策研究会会長>

今後のスケジュールであるが、この政策提言書案を会派に持ち帰っていただき、全議員の賛同を得た上で、12月17日の議会運営委員会です承いただき、同日、市長へ提出することとしたいと考えている。

<木曾委員長>

シンボルマークは、今後、亀岡市のあらゆるところで使われていくことになる。広くつながっていくためにも、シンボルマークを含めたこの政策提言について、各会派の皆さんの確認の中で進めていきたいとの思いである。12月17日の議会運営委員会で各会派の意見を確認し、シンボルマークと合わせて政策提言書として市長へ提出していただくことでよいか。

—全員了—

<木曾委員長>

それでは各会派で検討願う。

散会 16:07